

## 平和カンパをありがとうございます

2018年8月 ベラルーシ「希望」

『腫瘍病・血液病・その他の病気の子どもたちのための保養』

チェルノブイリ子ども基金



- 場所：子どもリハビリ・健康回復センター  
「ナデジダ（希望）」 ミンスク州ビレイカ地区
- 期間：2018年8月2日～8月25日（24日間）
- 参加者：子ども28人（8～17歳／ゴメリ市、レチツァ市、モーズィリ市、ブラーギン市、レリチツァ市）、引率者2人（教師1人、看護師1人）
- 参加者の病名：脳腫瘍、目の腫瘍、悪性リンパ腫、精巣腫瘍、腎臓がん、肝臓がん、神経芽細胞腫、筋線維芽肉腫、白血病、血小板減少性紫斑症、染色体疾患。

保養期間中、午前中は治療に充てられ、午後はクラブ活動（木工細工、手芸、陶芸、絵画、シンセサイザー）の他、スポーツ大会、コンクール、コンサートなどがあります。資料室にある“チェルノブイリ原発 30 キロ圏内立体地図”を見ながら放射能の説明を受けたり、ナデジダの太陽光発電を見学したりしました。湖での水浴や、キャンプファイヤーもありました。敷地内にはブランコやジャングルジムなどいろいろな遊具があり、遊び場所には困りません。引率者2名の他、「ナデジダ」の教育担当者、心理カウンセラー、医師たちは、滞在中の子どもたちの生活全般に気を配ります。最初の1-2日は家を恋しがって泣いていた小さい子も、すぐに環境に慣れ友だちと仲良くなりました。

<小児科医の感想>9歳の女の子は、到着後まもなく熱を出し、数日間施設内の病室で過ごしました。この子は最後まで咳が続きました。後半も2人の子どもが数日間病室で過ごしました。免疫力が低い子どもが多いです。皆いくつもの病気を抱えています。たとえば11歳の男の子は腎臓がんで片方の腎臓を切除。残っている腎臓が慢性腎盂腎炎で、慢性扁桃炎と脊椎側弯症もあります。この子は、スペレオセラピー（天然の塩の壁で囲まれた部屋で過ごす。呼吸器官の病気に効果がある）、鼻・喉を温める治療、酸素カクテル（泡状の酸素飲料）、療養体操、吸入治療（ネブライザーによる）の5種類の治療を受けました。他の子どもは症状により、マッサージ、アロマセラピー、シャワーや浴槽での水による治療など

を受けました。保養開始時と中間、最後に健康状態を確認します。治療内容と効果をカルテに書き込み、家に持ち帰り、家族とかがかりつけの医師がわかるようにしています。健康上の問題でスポーツの催しに参加できない子どももいます。腫瘍病の治療はここではできませんが、他の症状を緩和することと、免疫力を上げることはできます。それを目標にしています。

<子どもたちの感想>★素晴らしい保養をありがとうございます。健康状態はよくなりました。新しい友人ができました。（アーニャ・女・16歳・レチツァ市）★木工細工の教室が楽しかった。食事はとてもおいしかった。（アルチョム・男・13歳・ゴメリ市）★この保養に招待してくれた日本のみなさん、私たちの世話をしてくれた引率者とナデジダのみなさん、ありがとうございます。（リーザ・女・9歳・ゴメリ市）★初めて保養に参加しました。ダンスを練習して舞台の上で発表した。友だちがたくさんできて楽しかった。（クシューシャ・女・9歳・ゴメリ州ラパチノ村）★ここは保養のための素晴らしい施設です。健康によいというだけでなく、友だちとの交流や、新しい知識や経験を得ることもできました。保養に招待してくれたみなさんに心から感謝します。（ナースチャ・17歳・女・レチツァ市）★保養を通していろいろな人と交流できたのがよかった。年齢的に、今年で最後なのがとても残念。自分は子どもの時に大変な病気をしたけれど生きてこられた。だからこれからも大丈夫だと思っている。何があろうと心の準備はできている。自分を信じている。（リョーニャ・男・17歳・ゴメリ市）

### チェルノブイリ子ども基金

〒177-0033 東京都練馬区石神井町3-16-15-408

TEL/FAX 03-6767-8808

E-mail cherno1986@jcom.zaq.ne.jp

HP <http://ccfj.la.coocan.jp/>

